

## 第2回死生懇話会

「死」「生」は誰のもの？  
個人だけのもの？

自分らしい生き方って？

「死」は隔離されたものになった？

誰もが避けられない「死」とどう向き合い、そこから限りある「生」をどう捉えるか、そういった根源的なテーマを真正面から考えることで、より豊かに生きるための施策につなげる契機とするを目的として、滋賀県では、様々なお立場の方からなる「死生懇話会」を、昨年度設置しました。

「第1回死生懇話会」を本年3月に開催し、意見交換を行いました。第2回でも「死」というものを暮らしや地域の中で遠ざけず、生きていくことをより大切に、一緒に生きていくことに意味を持たせていく…、そうしたことについての議論を深めていきたいと考えています。皆様のご聴講お待ちしております。

2021年6月19日(土)

滋賀県庁 新館7階大会議室 14:00~16:30  
(オンライン聴講あり)

## 議事

※時間は前後することがあります

- 14:00 開会・出演者紹介
- 14:05 開会にあたって(滋賀県知事 三日月大造)、事務局からの説明
- 14:15~14:45  
講演「死生観の再構築」 京都大学こころの未来研究センター教授 広井良典さん
- 14:45~15:15 出演者による意見交換  
講演を受けて「死生観の空洞化」「死生観の再構築」をテーマにそれぞれの立場で感じることについての意見交換など
- 15:15 休憩
- 15:25~16:20 出演者による意見交換

ご聴講の皆様からもご意見・ご感想をいただきながら、前半に引き続き意見交換

→ご聴講の皆様からもコメント(ご感想、ご意見、ご質問など)を受付けさせていただきます。時間の関係上、一部ではございですが、懇話会の中で取り上げさせていただきます、それについて出演者で議論させていただく予定です。

- 16:20 議論の振り返り
- 16:30 閉会

## アンケートにご協力をお願いします。

ご聴講いただきました後、アンケートにご協力いただき、ご意見・ご感想をお聞かせいただけると幸いです。以下のURLまたはQRコードより、アンケートシステム(しがネット受付サービス)にお入りいただけます

## 【アンケート】

[https://s-kantan.jp/pref-shiga-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=10037](https://s-kantan.jp/pref-shiga-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=10037)



## 主催

滋賀県総合企画部企画調整課 企画第二係

TEL 077-528-3312 メールアドレス [kikaku02@pref.shiga.lg.jp](mailto:kikaku02@pref.shiga.lg.jp)

# 出演者プロフィール

## ゲストスピーカー 広井 良典 さん 京都大学こころの未来研究センター教授

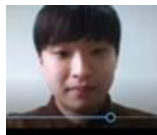
東京大学教養学部卒業（科学史・科学哲学専攻）、同大学院総合文化研究科修士課程修了。厚生省勤務を経て、96年より千葉大学法経学部（現・法政経学部）助教授、2003年より同教授。01年～02年マサチューセッツ工科大学客員研究員。16年4月から京都大学こころの未来研究センター教授。専攻は公共政策及び科学哲学。「日本の社会保障」（岩波新書、1999年）でエコノミスト賞、「コミュニティを問いなおす」（ちくま新書、2009年）で大佛次郎論壇賞を受賞。他に「定常型社会」「ポスト資本主義」「人口減少社会のデザイン」「死生観を問いなおす」など著書多数。



## 「死生懇話会」委員（50音順）

### 青柳 光哉さん

滋賀県立大学人間看護学部4年生



滋賀県立大学で看護師を目指して勉強中。「死」や「生」をどう捉えるのか、若い世代の視点から議論に参加いただきます。

### 打本 弘祐さん 龍谷大学農学部 植物生命科学科 准教授

龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学（文学修士）、桃山学院大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士課程修了（社会学博士）。浄土真宗本願寺派僧侶。ビハラー僧として緩和ケア病棟や高齢者施設での勤務を経て、2015年4月に龍谷大学文学部へ着任、2020年4月より現職。現在は医療福祉現場での宗教者の活動を研究しつつ、仏教を通して学生へ死と生を考える講義を行なう。



### 越智 眞一さん 一般社団法人 滋賀県医師会 会長



京都府立医科大学を卒業後、病院勤務を経て、大津市内にて開業。以来、開業医として地域住民の疾病予防や健康管理に精力的に従事してきた。大津市医師会の役員として介護保険制度への対応や認知症施策の充実に貢献、2008年4月大津市医師会会長に就任。2010年4月からは滋賀県医師会理事を努め、救急災害医療体制の整備を行政とともに推進する活動に尽力、2018年4月に滋賀県医師会会長に就任し、滋賀県の保健・医療・福祉の向上と充実に努めている。

### 楠神 渉さん 滋賀県介護支援専門員 連絡協議会 副会長

主任介護支援専門員、社会福祉士、介護福祉士。2001年より介護老人福祉施設で勤務。地域との連携をより深められないかと2007年にNPO法人加楽を設立。東近江市内の田園地区で、高齢者向けの居宅介護支援、通所介護、介護保険外事業や地域活動などを行っています。「子どもも、お年寄りも、障がい者も外国人も、みんなで地域のことを考えていければと思います」



### 藤井 美和さん 関西学院大学人間福祉学部人間科学科 教授（死生学研究者）



研究領域は、死生観、クオリティー・オブ・ライフ（QOL）、スピリチュアリティ。新聞社勤務中、神経難病を発症。全身麻痺となり、半年の入院、2年半のリハビリを経験。これが死生学領域に関心を持つきっかけとなる。1994年関西学院大学大学院社会学研究科修了後、フルブライト留學生としてアメリカ、セントルイスのワシントン大学（Washington University）博士課程入学。1999年Ph.D.（博士号）取得。主著に「死生学とQOL」（単著）。「たましいのケアー 病む人のかたわらに」（共著）、「生命倫理における宗教とスピリチュアリティ」（共編著）。

### ミウラ ユウさん NPO法人 好きと生きる 理事 一般社団法人こどもエンターテインメント 代表理事

20代から各ボランティアに参加。結婚後10年間の不妊治療を経て緊急帝王切開で長男を出産。生きて生まれる確率3%といわれる難病で生まれた。長男が5歳の頃から病児を持つ保護者の悩みを傾聴するボランティアを始める。2018年一般社団法人こどもエンターテインメントを設立。外出困難や入院中の子どもにエンターテインメントを届ける事業を展開。福祉とエンターテインメントの融合により人々を幸せにするプログラム、子どもの人権について学ぶ機会を提供。また社会との関わりが困難な人のための居場所提供を実施。



## ファシリテーター

### 上田 洋平さん 滋賀県立大学 地域共生センター 講師



滋賀県立大学卒業（1期生）。滋賀県立大学大学院人間文化学研究科地域文化学専攻博士課程単位取得退学。専門は地域文化学・まちづくり。風土に根ざした暮らしと文化の研究と実践に取り組む一方、地域と連携した人材育成や「地域共育」プログラムの開発も手掛ける。住民が協力し合って地域の暮らしの物語を「屏風絵」として描き上げるまちづくりの手法「心象図法」を開発。「死によって別たれるのではなく、死をも分かち合うことによって結ばれるのが人間であり、人間の共同体とはそこに発生するのではないかと思います」

## 滋賀県知事 三日月 大造



＜死生懇話会 ～「死」を捉えた「生」のあり方を考えるヒントに～（県ホームページ）＞

滋賀県では、死生懇話会のご紹介とあわせて、「死」「生」に関する様々な取組、考え方について色々な方にインタビューさせていただいた取材記事等を県ホームページでご紹介しています。

URL：<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/316588.html>

